

これまでの感謝を力に変え 全国高校総体出場報告

7月30日、高千穂高校女子剣道部(佐伯太郎監督)が、8月3～6日まで大分市で開催される全国高校総体の剣道競技に出場するため、町長室を訪れました。

5月の県高校総体で、2年ぶりの団体優勝をし、個人戦を制した櫻井実希主将は「支えてくださる地域の方々や出場できない部員や男子の分まで精一杯戦ってくる。団体戦、個人戦とも最終日まで残り悔いのない試合をしたい」と意気込みを語りました。



力強く華麗な棒さばき 高千穂古武道棒術の祭典

7月21日、三田井(本組)の一本木広場にて、三田井地区棒術保存会(佐藤哲章会長)による第14回高千穂古武道棒術の祭典が行われました。

昭和44年3月に町の無形民俗文化財に指定された棒術は、現在、後継者不足に悩む中、棒術に触れてもらえる貴重な機会として毎年開催(コロナ期間中は中断)しており、参加した会員15人が、棒・白刃・長刀などの演目を解説付きで披露しました。



県予選会で優勝 九州大会出場報告

7月4日、高千穂ソフトボールスポーツ少年団(甲斐洋介監督)が、6月15・16日に開催された宮崎県予選会において優勝し、8月3・4日に八代市で開催される第42回全九州小学生男子ソフトボール大会に出場するため、町長室を訪れました。

藤原大矢主将は「優勝できうれしかった。九州大会では必ず優勝を勝ち取りたい。ご声援とご協力をお願いします」と意気込みを語りました。



被用者保険及び市町村それぞれの利用率 マイナ保険証利用率で全国1位

6月27日、政府が、本年5月から7月までを「マイナ保険証利用促進集中取組月間」と位置付け、マイナバーカードの健康保険証(マイナ保険証)の利用を促進。期間中の取り組みの一環として、マイナ保険証の利用促進に関する取り組みが進んでいる地域の関係団体や保険者を表彰する制度を新設。今回、本町が利用率36.6%(4月1日時点の実績で全国1位となり、政府から表彰されました。



友好と親善を深め 日独スポーツ交流事業

7月30日、第51回日独スポーツ交流事業として、団員9人と視察団・通訳4人が町役場を訪れ、歓迎レセプションが行われました。レセプションでは、団員紹介の後、町長が歓迎のあいさつ。彫り物のキーホルダーなどの土産を手渡しました。

団員は、4泊5日の日程で西臼杵3町で農家民泊。各町のスポーツ少年団員や中学生、高校生とスポーツ・文化体験など交流を行う予定です。



けがれを払い清め無病息災を願う 高千穂神社夏季大祭・夏越大祓

7月29日、高千穂神社(後藤俊彦宮司)で、夏季大祭と夏越大祓が行われました。

拝殿での神事では、祝詞奏上や三田井地区祭保存会による神楽が奉納された後、出席者が御神前に玉串を供えました。

その後、「人形流し」を行うため、高千穂峡に移動。参拝者が名前と住所を書き込み、息を3回吹き掛けるなどしてけがれを移した人形(約7500枚)を神橋から川に流しました。



日本ユネスコエコパークネットワーク大会 本町で現地視察

7月18日、日本ユネスコエコパークネットワーク大会の参加者ら(国内10カ所の地域や文部科学省、各財団など)が現地視察を行いました。

参加者らは、前日に延岡市で開催された総会に出席。早朝に延岡市を出発し、高千穂神社に到着。後藤俊彦宮司による神社の説明や子ども神楽(河内神楽保存会と高千穂高校神楽保存会)を見学。その後、高千穂峡の遊歩道を散策しました。



犯罪や非行防止と更生への理解を 社会を明るくする運動メッセージ伝達

7月1日、第74回「社会を明るくする運動」犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」として、内閣総理大臣メッセージの伝達式が町長室で行われ、高千穂地区保護司会(谷川秀憲会長)の廣末弥壽雄高千穂支部長がメッセージを読み上げ、甲斐町長に手渡しました。

甲斐町長は「子どもたちを中心に啓発を行い、犯罪のない住みよい町づくりに努めていきたい」と話しました。

